

県内の農産物を使った新たな菓子が完成し、5日にお披露目された。主にベジタブルとフルーツを使用した「その名も」ベジフルハーバー」。人気の横浜土産「ありあけのハーバー」の新商品として取り扱われるという。

製菓会社「ありあけ」(横浜市中区)が発売するのは「かながわ産ほうれん草と津久井在来大豆きな粉味」「三浦かぼちゃと湘南ゴールド(かん

県内農産物使い新商品



「ベジフルハーバー」を手にした(左から)黒岩祐治知事、柿沢さん、「ありあけ」藤木会長

「ベジフルハーバー」お披露目

きつ)味の2種類。「かながわ食の大使」で東京・中目黒の野菜スイーツ専門店「パティスリー・

柿沢さんによると、ありあけ側とは試作と味の

り、約1年かかった。使った食材の中には県外に出

微調整のやりとりを幾度も繰り返して、完成まで

で他県の人にも食べてもらえる」と柿沢さん。県の農産物を広く知ってもらいたいという思いはありあけ側とも一致しており、同社の藤木久三会長は「神奈川県には素晴らしい緑と水と農産物がある。ハーバーとして今後も商品化したい」と第2弾にも意欲を見せた。

(柏木 智帆)